

あいぽーと通信

令和元年
(2019)
9月発行
第50号

第50号
記念号

トピックス
Topics

- 「あいぽーと通信」第50号記念 ごあいさつ
- 特集:みんなの学校が今、教えてくれること
- 第1回特別展示 ●あいぽーとスタディ
- 夏休み子ども体験プログラム
- あいぽーと徳島 イベント情報など

あいぽーと徳島では、さまざまなイベントを開催しています!

このたび「あいぽーと通信」は、令和元年(2019年)9月号で、記念すべき創刊50号を迎えることができました。いつもお読みいただいている皆様をはじめ、「あいぽーと徳島」を御利用いただいている皆様、この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

振り返ってみますと、「あいぽーと通信」は、本県における人権教育・啓発の拠点である「徳島県立人権教育啓発推進センター」「あいぽーと徳島」が発行する広報誌として、平成19年6月に創刊して以来、「あいぽーと徳島」が実施する人権に関する講演会・研修会・イベント等に関する内容や、「あいぽーと徳島」が貸出しを行っている図書・DVD等の紹介など、人権に関する様々な情報を年4回発信して参りました。

21世紀は「人権の世紀」と言われ、「すべての人々の人権が尊重される社会」を実現することは、国民共通の重要な課題であります。しかしながら、「高齢者や障がい者に対する虐待」「インターネット上での悪質な差別書込」など、昨今の人権問題を取り巻く状況は、より複雑化・多様化してきております。

国においては、「部落差別解消推進法」や「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ解消法」など、人権に関する法律を施行し、差別解消に向けた取組みを推進しております。さらに、外

「あいぽーと通信」第50号記念知事挨拶

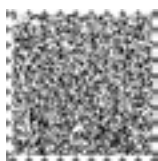


徳島県知事 飯泉嘉門

国人材の受入れ拡大に伴い、本年4月には「改正出入国管理法」が施行されるなど、今後は、在住外国人との共生社会に向けた取組みも重要になってきます。

県におきまして、インターネット上の差別書込の抑止・削減を図る、ネットモニタリング事業をはじめ、国や市町村、関係団体、そして「あいぽーと徳島」の指定管理者である「特定非営利活動法人徳島ヒューマンネット」と、より一層連携・協力しながら、人権意識の普及向上に努めて参ります。

今後とも、「すべての人々の人権が尊重される社会」の実現に向け、「あいぽーと通信」を通じて多角的な情報発信に努め、県民の皆様とともに、「人権尊重の輪」を、ここ徳島から広げて参りたいと考えておりますので、なお一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。



(音声コード)

あいぽーと徳島 イベント情報

あいぽーと通信 50号

令和元年度「人権教育啓発・男女共同参画の推進」啓発行事「フレアキャンパス講座」

市岡裕子さん講演会

「人生あきらめたらあかん!!」
～足りないものに不平不満を言わずに有るものに感謝～

- 講師 / 市岡 裕子(いちおか ゆうこ)さん
(ゴスペル歌手・吉本新喜劇元看板役者、故 岡八朗の長女)
- 日時 / 令和元(2019)年10月13日[日]
午後1時30分～午後3時(開場午後1時10分)
- 会場 / ときわプラザ2階
「プライダルコアとときわホール」
(徳島市山城町東浜傍示1-1 アスティとくしま内)

- 主催・問い合わせ
○あいぽーと徳島(徳島県立人権教育啓発推進センター)
Tel.088-664-3719
○ときわプラザ(徳島県立男女共同参画交流センター)

参加
無料

要申込
(定員135名)
お申し込み
下さい。



第3回県民講座

「現在(今)を生きるアイヌ」

参加
無料

申込
不要

- 講師 / 宇佐 照代(うさ てるよ)さん
(アイヌ文化伝承者)
- 日時 / 令和元(2019)年10月25日[金]
午後1時30分～午後3時30分
- 会場 / 沖洲マリンターミナルビル2階
「マリンホール」(徳島市東沖洲2-14)

- 主催・問い合わせ
○あいぽーと徳島(徳島県立人権教育啓発推進センター)
Tel.088-664-3719



玉城ちはるさん講演会

あいぽーと徳島 サテライト講演(公演)会
三好市市民権大学講座

「命の参観日」

- 講師 / 玉城 ちはる(たまき ちはる)さん
(シンガーソングライター・ホストマザー)
- 日時 / 令和元(2019)年12月8日[日]
午後1時30分～午後3時
- 会場 / 三好市中央公民館 4階大ホール
(三好市池田町マテ2476)

- 主催・問い合わせ
○あいぽーと徳島(徳島県立人権教育啓発推進センター)
Tel.088-664-3719
○三好市教育委員会 生涯学習・スポーツ振興課

参加
無料

申込
不要



三木幸美さん講演会

あいぽーと徳島 サテライト講演(公演)会
阿南市人権教育・啓発市民講座

「私」からはじめる「私たち」の多様性社会
～「ちがひ」と「まちがひ」の境界線～

- 講師 / 三木 幸美(みき ゆきみ)さん
(とよなか国際交流協会)
- 日時 / 令和元(2019)年12月17日[火]
午後2時～午後3時30分
- 会場 / 阿南市文化会館(夢ホール)2階 研修室
(阿南市富岡町西池田135番地1)

- 主催・問い合わせ
○あいぽーと徳島(徳島県立人権教育啓発推進センター)
Tel.088-664-3719
○阿南市・阿南市教育委員会・阿南市人権教育協議会



◎次の事項を希望される場合は、あいぽーと徳島までご連絡ください。(第3回県民講座については10月1日まで○玉城ちはるさん講演会については11月13日まで○三木幸美さん講演会については11月26日まで)

●ヒアリンググループをご利用される場合(受信機貸出可・数に限りがあります) ●要約筆記をご希望される場合 ●手話通訳をご希望される場合

◎各講演会について、当日午前11時の時点で、会場のある市に警報(暴風・大雨・洪水)が発令されている場合は、開催中止となります。

■主催・問い合わせ / あいぽーと徳島(徳島県立人権教育啓発推進センター) Tel.088-664-3719

2019年度

意見発表に係る作文

作詩作曲作品

標語ポスター

人権に関する児童生徒の作品
表彰式・発表会・展示会

参加
無料

申込
不要

〈表彰式・発表会〉

- 日時 / 12月1日[日] 午後1時30分～
- 会場 / 徳島県立二十一世紀館「イベントホール」
(徳島市八万町向寺山文化の森総合公園内)

〈展示会〉 標語ポスター

- 日時 / 12月1日[日]～12月8日[日]まで
午前10時～午後4時
ただし、12月2日(月)は休館日、12月8日(日)は午後3時に終了
- 会場 / 徳島県立二十一世紀館「多目的活動室」

人権相談のご案内

あいぽーと徳島では、人権擁護委員・弁護士による人権相談を行っています。まずは電話にてご連絡ください。

Tel.088-664-3701

一人で
悩まず
お電話を

●人権擁護委員による相談
第2・第4土曜日(10:00～16:00)

面接相談及び
電話相談

●弁護士による相談(要予約)
第1・第3金曜日(13:00～16:00)

面接相談

[編集・発行]

あいぽーと徳島

徳島県立人権教育啓発推進センター
指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット
〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内
Tel.088-664-3719 Fax.088-664-3727

あいぽーと徳島 検索 http://www.aiport.jp

- 開館時間 / 午前10時から午後6時まで
- 休館日 / 月曜日(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日から1月3日まで)

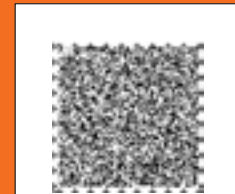
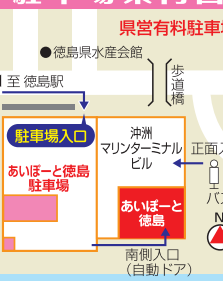


駐車場
案内

お車を利用の場合、ビル西側駐車場の「あいぽーと徳島」と表記のある赤いコーンの場所に駐車してください。
満車の場合は、ビル北側の県営有料駐車場をご利用ください。
●4時間まで 200円

公共交通機関のご案内 JR徳島駅から徳島市営バス[中央卸売市場]行きに乗車し、[沖洲マリンターミナル]にて下車

駐車場案内図



(音声コード)

特集



みんなの学校が今、教えてくれること

- ◆あいぼーと徳島サテライト講演（公演）会
- ◆“あわ”じんけん講座（校種別実践力向上講座）
- 令和元（2019）年7月22日実施

講師

木村 泰子 さん

『みんなの学校』大空小学校（元）校長

講演内容

■大空小学校という教育現場

今日は、教育生活8年目の先生方と市民の皆さんが一緒に参加されているとお聞きしています。教員の8年目といえば、自分の仕事だけを考えるのではなく、周囲のいろいろな見えるようになり、学校の中でキーパーソンになる時期です。私は大阪市で45年間、小学校の教員をしていました。最後は大阪の大空小学校という、新しくできた小学校の初代校長として赴任し、そこから退職するまでの9年間を過ごしました。

大空小学校は「みんなの学校」という映画にもなり、この映画を通じて大空小学校の教育改革が上から指示されたものではなく、現場の足下から起こっているという点で評価されています。

■最上位にある目的

学校の先生達として、いちばん最上位にある仕事の目的とは何でしょう。大空小学校を開校する時、私たちもそのことについて話し合いました。そして出てきた答えは「すべての子どもの学習権を保障すること」だったんです。学力を保障すること、学習権を保障することは、大きく違います。貧困や重度の障がいなど、どんな特性や背景があるうと、すべての子どもが安心して自分の学校で学ぶ居場所がある、これが学習

権の保障です。

それを実現するために、私たちは教育の主語を「子ども」にしました。子どもが困っている、笑っている、一生懸命やっている、語っている。子どもを主語に変えたら、私たちにできることがおぼろげながらに見えてきたんです。

一生懸命授業することはとても大事で、何も間違っていないんですが、でもそれは目的ではなく手段です。目的はもうひとつ向こうにあるということを、たとえ自分よりも立場が上の先生に対しても言える空気を作っていかなければ、学校から子どもの姿が消えてしまうのです。

■一人の少年と地域住民

『みんなの学校』にも登場する、ある少年がいます。彼の家庭は貧困で、親はいるけれども、そこに理想的な家庭の姿はありません。

ある日、職員室のみんなまで持ってきたお弁当を食べていたところに彼が走り込んできて、こう言うんです。「俺、食べ物がないけど3日は水でも我慢できる。けど4日目になってどうしても我慢できなかつたから、今コンビニでかきまわしを1個盗んで職員室に逃げてきた。俺、どうしたらいい？」。

コンビニに行く前に違う手段を見つけないさ、一緒に行つてあげるから謝つて返しに行こう。教師としてはそんな言葉言うべきだったかもしれないが、職員室にいた私たちの誰もが、何も言え

なかつたんです。それは彼が飛び込んでくる数分前、職員室に飛び込んできた地域の女性からこんな話を聞いていたからです。

「あの子がコンビニから飛び出してきて、路地裏でおにぎりをがぶついて食べているのを見かけた。見つかったらかわいそうだから日傘で隠してあげていたら、あの子は逃げていった。先生、あの子に万引きさせなくていいようにするために、私たちに何ができるんですか、何をしたらいいんですか」。

彼の場合は、追い詰められているという状況が顕著にわかりやすいというだけで、学校ではおとなしい顔をしている女の子が、家ではネグレクトに遭っていたケースもあります。さつき私たちの最上位の目的はすべての子どもの学習権を保障することだと言いましたが、子ども達が学校に来なければ、それはできません。学習権を保障しようと思つたら、まず命の保証を得られることが前提なんです。

学校だけの努力で子どもの命を守ることはできないのが今という時代です。地域の人が学校に関わり、困っている子の姿を見て、放課後にその見守りを学校から地域でどうバトンタッチできるか、それも考えることができてこそ学校だと思ふんです。

■地域とともにある「みんなの学校」

学校で行われる人権教育は、ただ「人権教育をしましたよ」という実績を作るための人権教育では何の意味もありません。大空小学校には、全国から学校を放り出された子どもがどんどん入ってきます。創立から9年目には、260人の子ども達の中に重度の知的障がいや発達障がいや障害者手帳を持つてくる子どもが52人いました。通常学級7学級に対し、特別支援学級が9学級で、毎日トラブルがあります。でもトラブルがあつて当たり前なのが学校で、このトラブルを生きた学びに変えるかいじめに変えるか、これこそが私たち大人に求められている専門性だと感じています。

新しい学校を作ろうと教育委員会が提案してから大空小学校ができるまでの20年、地域住民からは強い反対運動がありました。その理由のひとつに、大空小学校の地域に被差別部落が含まれていることがあります。ようやく小学校ができた時、その被差別部落の方々が、私にこう言ってくれました。「自分が今真っ暗な中っていると想像してください。真っ暗な場所からだとも明るい所は見ようと思わなくても見えるけど、明るい所にいたら暗い所はよっぽど注意しないと見えないもの。暗い所がどこにあるかすら、探さないと見つけれません。先生方は、子ども達に暗い所がないかをいつも注意して探せる大人であってくださーい」。教員として仕事をしている、いろんな指示が上からおりてくるものです。でも言われた通りに動



くだけてではなくて、目の前の子ども、困っている子どもを二人でも見つける努力が必要なんです。その子が学校に来るためには何をしたらいいか、何ができるか、そう思うことができたなら、必ず解決のきっかけはつかめます。

人権という言葉は形骸的に一人歩きさせるのではなく、見えないものをどうやって見ようとするか努力する、そんな姿勢を持った大人が一人二人とつながっていくことの必要性を、私は大空小学校から学びました。市民の皆さんも、教師とは立場が違っていても、どちらも大人であることに変わりはありません。つらい思いをしている子どもの横に大人がそつと入ることができる、そんなチームを先生達と一緒に作っていきましょう。



第1回 特別展示 「子どもたちに伝えたい平和への祈り ～沖縄戦とひめゆり学徒隊～」

7月25日（木）から8月31日（土）まで、「沖縄戦とひめゆり学徒隊」の写真パネル展示と、「アニメひめゆり」の上映を実施しました。期間中、多くの方々にご来場いただきました。

夏休み子ども体験プログラム

今年も多くの方々に様々なプログラムを体験していただきました。



すず虫昆虫教室&家づくり



マスコミ機関訪問学習



わくわく農業体験



防災体験「まなぼうさい教室」



高齢者との交流「ゆりリコンサート」

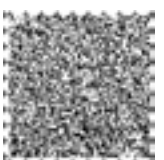
あいぼーとスタディ

「男女格差」～ジェンダーについて学習されました。

- 7月24日（水） ●徳島県立城北高等学校1年生
- 講師 日下 智賀子 さん（CAP徳島 代表）



（音声コード）



（音声コード）